

タンパク質フォールディング異常と疾患

オーガナイザー：仲谷博安

講師：石浦章一（東京大学・大学院総合文化研究科）

DNAの塩基配列によって決定されるアミノ酸の配列情報がタンパク質の立体構造とどのように対応し、さらに立体構造がその機能とどのように関係しているかは長い間、生物・化学・物理学の各分野で多くの研究者の関心となってきました。全ての生物において生体内機能の大部分は非常に多種類のタンパク質によって複雑に担われており、そのうち1種類のタンパク質が機能しなくなるだけでも生物の生存にとって重大な脅威となりうる事がわかっています。これらの疾患は遺伝的要因だけでなく外的・内的環境によっても引き起こされうることから、それらの疾患の発病メカニズムを調べることによって治療法を確立しようとする動きも活発であります。

今回ご講演頂きます石浦先生はヒトの神経難病研究の第一人者であり、これらの発症メカニズムの解明だけでなく、ひろく精神と遺伝子の関連についても研究しておられます。本分科会では神経難病のうちいわゆるフォールディング疾患を中心にしてその基本的な話から最先端の研究に到るまでの講演をして頂く予定ですので、フォールディングに関係する仕事をされている方や医学に関係されている方、あるいは”アミロイド“という言葉に興味をお持ちの方は是非ご参加下さい。また先生は専門的な話題を一般の人向けに解り易く解説されることでも有名ですので、上の条件に当てはまらなかった方も非常に興味深く聞けることと思いますので奮ってご参加下さい。